

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2018年第42週  
(10月15日～10月21日)

- \* 2018年10月24日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「ノロウイルスのDiffuse Outbreak」も掲載しています。

平成30(2018)年10月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2018年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	46	45	55	53	2,633	367	17,404
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢	1	1	1	8	42	20	152
	腸管出血性大腸菌感染症	13	10	3	16	413	72	3,472
	腸チフス			2		11	3	32
	パラチフス					7		19
四類	E型肝炎	1	3	5	1	80	7	364
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	4	9	5	3	376	8	822
	エキノコックス症							10
	黄熱							
	オウム病			1		2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							5
	キャサヌル森林病							
	Q熱					2		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>						1	69
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							1
	炭疽							
	チクングニア熱							3
つつが虫病					4	1	100	
デング熱	5	1	2	2	51	3	153	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						14	252
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							3
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症					1		2
	マラリア	1				13	1	42
	野兔病							
	ライム病					1	1	12
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		2
	レジオネラ症	10	6	7	6	140	46	1,775
レプトスピラ症	2			2	5	1	26	
ロッキー山紅斑熱								
2018/10/24集計								

### (全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

#### 〈二類感染症〉

**結核 53件** 患者 40件(肺結核 30件、その他の結核 8件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 12件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 14件、30代 5件、40代 4件、50代 1件、60代 4件、70代 10件、80代 10件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 41件、インドネシア 1件、コンゴ共和国又はコンゴ民主共和国 1件、ベトナム 1件、不明 9件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 8件** 患者 7件、無症状病原体保有者 1件、菌種はソンネ 8件、年齢は10歳未満 7件(うち5歳未満 4件)、20代 1件、推定感染地は国内 7件、インドネシア 1件、推定感染経路は接触感染 7件、経口感染 1件であった。10歳未満 7件は第41週に報告のあった患者と同一の保育園関係者であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 16件** 患者 12件、無症状病原体保有者 4件、血清型・毒素型はO103 VT型不明 1件、O111 VT1 1件、O157 VT1・VT2 2件、O157 VT2 9件、血清型不明VT2 3件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、10代 4件、20代 2件、30代 3件、40代 1件、50代 2件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 12件、ベトナム 1件、不明 3件、推定感染経路は経口感染 10件、接触感染 1件、不明 5件であった。

#### 〈四類感染症〉

**E型肝炎 1件** 患者、年齢は40代、推定感染地および推定感染経路は不明であった。

**A型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は30代 3件、推定感染地は国内 2件、インドネシア 1件、推定感染経路は経口感染 1件、同性間性的接触 1件、不明 1件、A型肝炎ワクチン接種歴は無し 1件、不明 2件であった。

**デング熱 2件** 病型はデング熱 2件、血清型不明 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地はインドネシア 1件、カンボジア 1件であった。

**レジオネラ症 6件** 病型は肺炎型 5件、ポンティアック熱型 1件、年齢は60代 2件、70代 3件、80代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は水系感染 3件、塵埃感染 1件、不明 2件であった。

**レプトスピラ症 2件** 患者 2件、年齢は10代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、タイ 1件、推定感染経路は水系感染 2件であった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 7件** 病型は腸管 7件、年齢は20代 2件、40代 1件、50代 4件、推定感染地は国内 5件、中国又は韓国 1件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 2件、経口感染 3件、不明 2件であった。

**ウイルス性肝炎 2件** B型 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は異性間性的接触 2件、B型肝炎ワクチン接種歴は無し 1件、不明 1件であった。

※ 第40週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件の追加報告があった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2018年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	4	3	1	7	133	13	679
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	2	3	2	2	50	4	195
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	9	8	2	173	39	1,705
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） <sup>*1</sup>		1			4	10	73
	急性脳炎 <sup>*2</sup>	1				49	5	533
	クリプトスポリジウム症					3		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1	2	21	2	171
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	3	1	75	4	562
	後天性免疫不全症候群	8	9	2	9	321	13	1,038
	ジアルジア症					16		58
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	1	2	32	4	383
	侵襲性髄膜炎菌感染症					6	1	29
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	4	1	297	30	2,550
	水痘（入院例に限る）	1	2		1	48	5	345
	先天性風しん症候群							
	梅毒	35	35	35	33	1,400	97	5,532
	播種性クリプトコックス症				1	16	4	146
	破傷風	2		2		7	1	102
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					5		63
百日咳 <sup>*3</sup>	65	68	62	96	1,513	252	7,945	
風しん	51	64	62	75	510	174	1,486	
麻しん					15	8	239	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					3	1	20	

2018/10/24集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*3 2018年1月1日より追加指定された。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件** 病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 1件、年齢は60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は無し 2件であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 2件** 古典型CJD 2件、年齢は60代 1件、80代 1件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清群はB群、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**後天性免疫不全症候群 9件** 無症候キャリア 5件、その他 4件、性別は男性 9件、年齢は20代 6件、30代 1件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 7件、中国 1件、国内又はインドネシア 1件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 8件、両性間 1件)であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、ヒブワクチン接種歴は不明 2件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 1件** 血清型は検査未実施、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価3回接種済みであった。

**水痘(入院例) 1件** 検査診断例、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

**梅毒 33件** 患者 23件(早期顕症梅毒Ⅰ期 12件、早期顕症梅毒Ⅱ期 10件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 10件、性別は男性 22件、女性 11件、年齢は20代 11件、30代 10件、40代 5件、50代 5件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 31件、タイ 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 31件(同性間 8件、異性間 15件、両性間 1件、性別不明 7件)、不明 2件であった。

**播種性クリプトコックス症 1件** 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全であった。

**百日咳 96件** 年齢は10歳未満 55件(うち5歳未満 10件)、10代 14件、20代 3件、30代 7件、40代 10件、50代 3件、60代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 86件、不明 10件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 53件、3回接種済み 1件、2回接種済み 1件、1回接種済み 4件、無し 5件、不明 32件であった。

**風しん 75件** 検査診断例 74件、臨床診断例 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 15件、30代 31件、40代 18件、50代 7件、60代 1件、推定感染地は国内 58件、不明 17件、推定感染経路は飛沫感染 16件、接触感染 1件、不明 58件、風しん含有ワクチン接種歴は2回接種済み 1件、1回接種済み 5件、無し 19件、不明 50件であった。

※ 第34週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第35週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第39週該当分として〔五類〕百日咳 1件の追加報告があった。

※ 第40週該当分として〔五類〕ウイルス性肝炎 1件、急性弛緩性麻痺 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 2件の追加報告があった。

※ 第41週該当分として〔五類〕百日咳 6件、風しん 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2018年42週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2018年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		39週	40週	41週	42週		
小児科	RSウイルス感染症	326	340	249	228	260	264
		1.26	1.31	0.95	0.88		
	咽頭結膜熱	51	55	48	52		
		0.20	0.21	0.18	0.20		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	374	405	372	500		
		1.44	1.56	1.41	1.92		
	感染性胃腸炎	891	1,073	956	1,153		
		3.44	4.13	3.63	4.43		
	水痘	57	56	79	68		
		0.22	0.22	0.30	0.26		
	手足口病	308	483	362	373		
		1.19	1.86	1.38	1.43		
	伝染性紅斑	227	339	240	262		
		0.88	1.30	0.91	1.01		
突発性発しん	118	136	99	114			
	0.46	0.52	0.38	0.44			
ヘルパンギーナ	165	168	119	129			
	0.64	0.65	0.45	0.50			
流行性耳下腺炎	27	30	16	21			
	0.10	0.12	0.06	0.08			
川崎病 <sup>*1</sup>	4	2	3	3			
	0.02	0.01	0.01	0.01			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	28	34	44	43			
	0.11	0.13	0.17	0.17			
インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	71	100	42	56	415	419
		0.17	0.24	0.10	0.13		
眼科	急性出血性結膜炎			1		38	39
				0.03			
	流行性角結膜炎	14	25	21	20		
		0.37	0.66	0.55	0.53		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	1			1	25	25
		0.04			0.04		
	無菌性髄膜炎			2			
				0.08			
	マイコプラズマ肺炎	7	4	7	5		
		0.28	0.16	0.28	0.20		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2			1			
	0.08			0.04			
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>							
インフルエンザ入院		1					
		0.04					

2018/10/24集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

\* 百日咳は2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ 伝染性紅斑は比較的高いレベルが続いています。
- ・ 手足口病は一部、定点報告数の高い地域が見られます。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2018年42週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	33	1		13		1		1	2		
6～11か月	58	2	2	78	3	32	2	25	25		
1歳	85	14	13	151	3	116	10	60	42		
2歳	30	10	23	134	2	76	20	18	22	2	2
3歳	9	9	44	93	4	55	29	7	8	1	1
4歳	6	4	50	110	4	27	30	2	11	4	
5歳	3	2	74	103	2	17	50		9	5	
6歳		6	78	70	10	17	39		6	2	
7歳		2	54	48	11	7	28	1	3	3	
8歳	1		48	52	8	7	20		1	2	
9歳	2		25	50	4	5	10			1	
10～14歳	1		54	117	16	5	12			1	
15～19歳			4	27		1	1				
20～29歳		2	31	107	1	7	11				
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	228	52	500	1,153	68	373	262	114	129	21	3
先週比	-21	4	128	197	-11	11	22	15	10	5	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1									
6～11か月	6									
1歳	21			3			1			
2歳	3	2					1			
3歳	2	4		1						
4歳	2	5								
5歳	3	3		1						
6歳	1	1					1			
7歳		2		1						
8歳	2	5								
9歳		2								
10～14歳		8		1			1			
15～19歳	1	1								
20～29歳	1	1		2						
30～39歳		7		5	1					
40～49歳		7		5			1			
50～59歳		3		1						
60～69歳		3						1		
70～79歳		2								
80歳以上										
合計	43	56		20	1		5	1		
先週比	-1	14	-1	-1	1	-2	-2	1		

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2018年42週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	1.00		0.33				0.33				
中央区		1.00	2.00	8.33		6.33	1.00	1.67	1.00		
みなと	0.33		1.33	2.67		3.67	0.67	0.33	1.17		
新宿区	1.88	0.25	1.00	4.38	0.13	0.75	0.25	0.13	0.38		
文京	1.50		1.50	2.25	0.25	1.50	1.75	0.50			
台東	1.00	0.25	1.50	5.25	0.50	7.25	1.00	2.00	1.00		
墨田区	1.00		1.20	2.80		1.00	0.60	0.20	0.40		
江東区	0.44	0.11	1.44	8.78		1.22	1.00	0.44	0.44	0.11	
品川区	0.50	0.13	1.38	3.63	0.50	1.13	0.88	1.00	0.13		
目黒区	0.80	0.40	1.60	4.20	0.20	1.20	0.80	0.20	1.20		
大田区	0.85	0.62	1.85	7.23	0.08	0.54	0.54	0.38	1.23		
世田谷	1.63	0.38	1.69	4.25	0.50	0.63	1.06	0.19	0.75	0.13	
渋谷区	0.50		0.25	4.00	0.25	2.25	0.50				
中野区	1.00		3.83	7.00		1.67	0.33	1.00	0.67	0.33	
杉並	0.91	0.09	1.27	2.55	0.36	1.64	0.91	0.27	0.09		
池袋	0.75		0.25	0.75	0.50	0.25	0.25				
北区	0.57	0.14	1.14	2.43		0.86	0.29	1.29			
荒川区	2.25	0.25	6.50	6.50	0.25	3.50		0.50	0.50		
板橋区	0.10	0.30	0.40	1.90	0.40	1.20	1.00	0.20	0.20		
練馬区	0.62	0.08	3.31	4.69	0.62	1.00	0.69	0.69	1.08		
足立	1.38	0.15	1.92	6.77	0.15	1.62	0.54	0.23	0.62	0.08	
葛飾区	0.25	0.13	1.50	4.88	0.25	1.38	0.63	0.38	0.13	0.13	
江戸川	0.91	0.45	2.82	6.36		1.00	0.91	0.18	0.27	0.45	
八王子市	2.27	0.27	2.36	7.91	0.09	1.64	3.82	0.36	0.45	0.18	
町田市		0.13	2.63	7.38	1.13	1.00	1.25	0.25	0.25	0.25	
西多摩	0.13	0.13	1.50	2.50	0.50	0.38	0.88	0.25	0.25		
南多摩	1.22	0.11	1.78	2.11	0.44	0.78	1.11	0.56	0.22	0.11	
多摩立川	1.14	0.07	1.64	2.36	0.21	2.07	1.29	0.21	0.50	0.07	
多摩府中	0.21	0.11	1.89	4.11	0.21	1.95	1.21	0.58	0.58	0.11	0.11
多摩小平	0.93	0.27	3.47	2.47	0.07	1.00	1.73	0.53	0.47	0.07	0.07
島しょ			2.00								
東京都	0.88	0.20	1.92	4.43	0.26	1.43	1.01	0.44	0.50	0.08	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田							0.50			
中央区		0.20		7.00						
みなと		0.33						1.00		
新宿区		0.17					0.50			
文京										
台東	0.25									
墨田区	0.20						1.00			
江東区		0.07								
品川区		0.08								
目黒区	0.20	0.38		1.00						
大田区		0.52		1.00						
世田谷	0.25	0.52								
渋谷区		0.14		1.00						
中野区		0.20		3.00						
杉並	0.09						0.50			
池袋							1.00			
北区				1.00						
荒川区				1.00						
板橋区	0.10	0.06		1.00						
練馬区	0.31									
足立	0.08	0.10								
葛飾区	0.13	0.08								
江戸川	0.09			0.50						
八王子市	0.18			0.50						
町田市	0.25									
西多摩		0.14								
南多摩										
多摩立川	0.36	0.14								
多摩府中	0.74	0.19								
多摩小平	0.27	0.13			0.50					
島しょ										

東京都	0.17	0.13		0.53	0.04		0.20	0.04		
-----	------	------	--	------	------	--	------	------	--	--



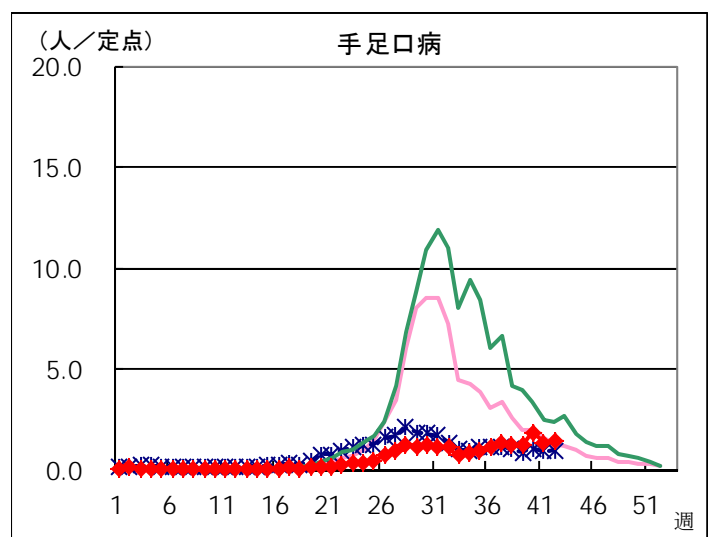
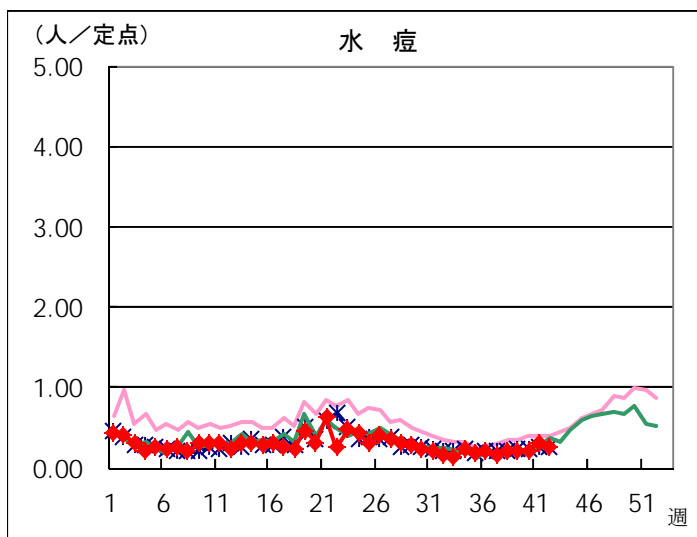
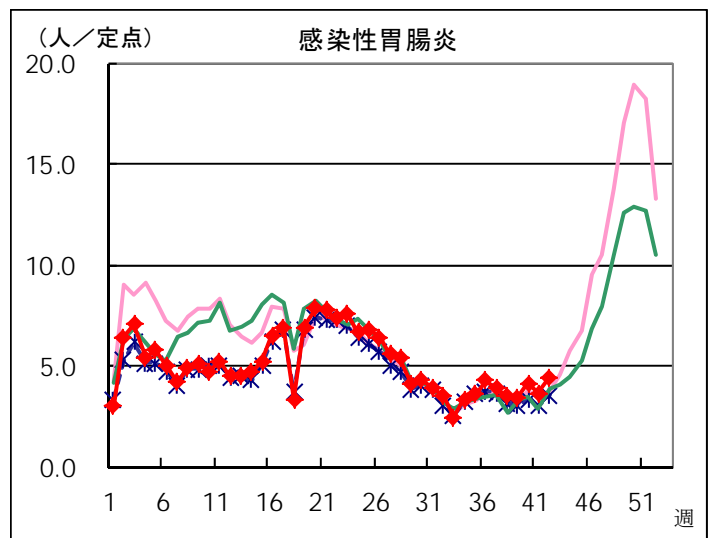
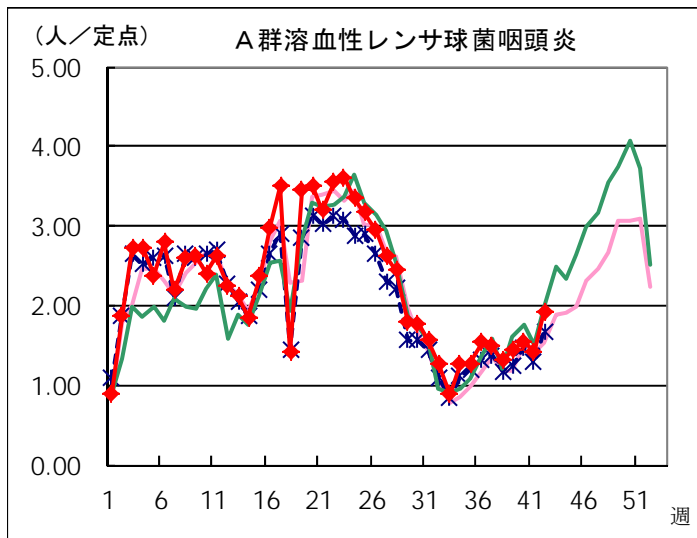
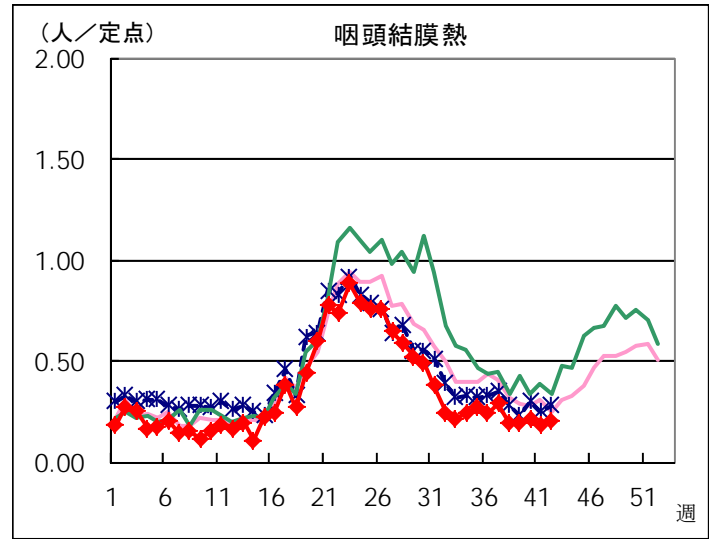
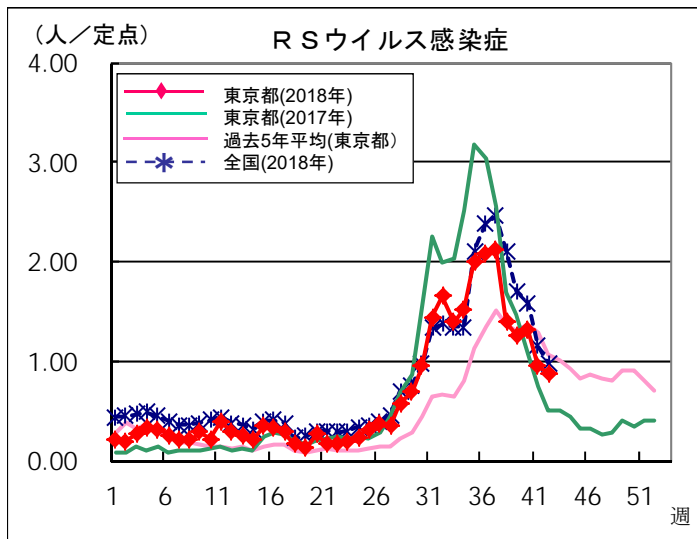
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2018年42週

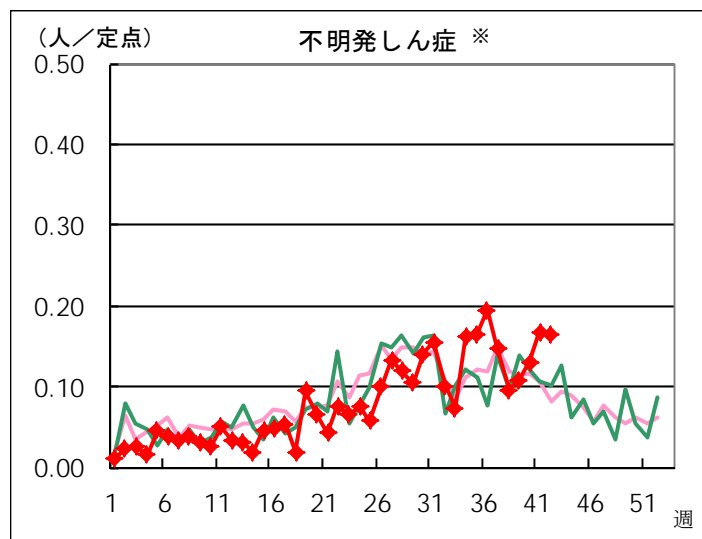
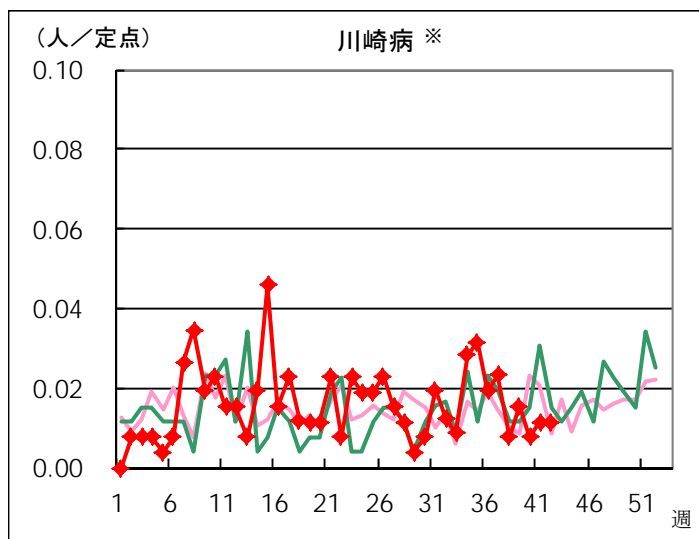
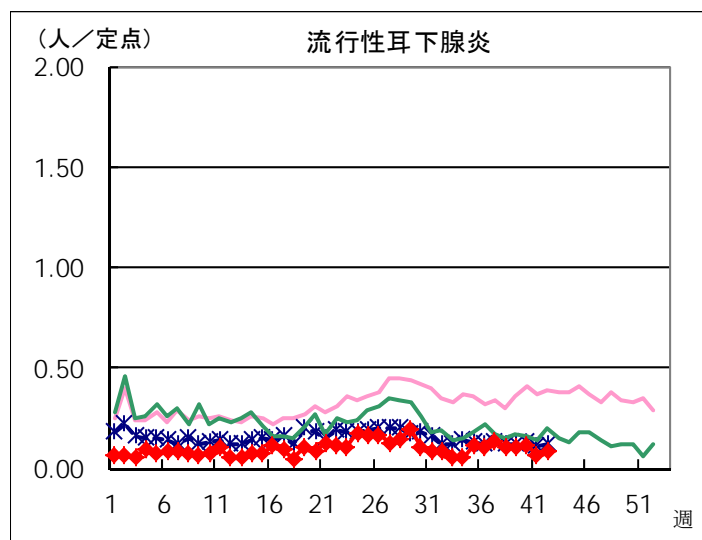
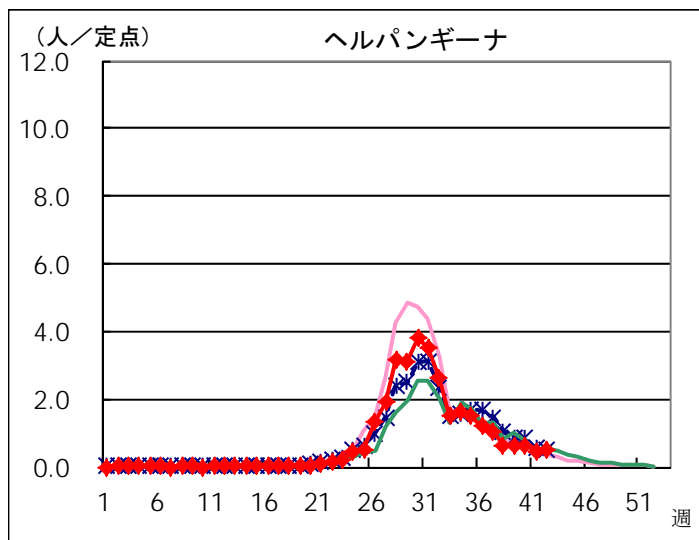
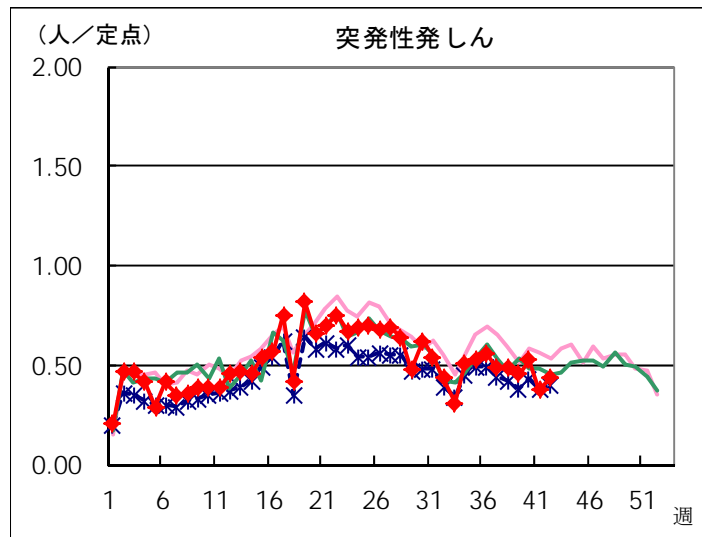
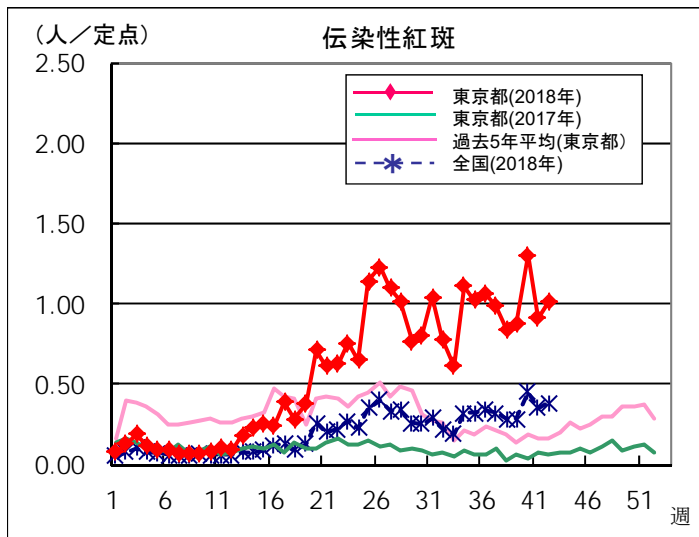
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	3		1				1				
中央区		3	6	25		19	3	5	3		
みなと	2		8	16		22	4	2	7		
新宿区	15	2	8	35	1	6	2	1	3		
文京	6		6	9	1	6	7	2			
台東	4	1	6	21	2	29	4	8	4		
墨田区	5		6	14		5	3	1	2		
江東区	4	1	13	79		11	9	4	4	1	
品川区	4	1	11	29	4	9	7	8	1		
目黒区	4	2	8	21	1	6	4	1	6		
大田区	11	8	24	94	1	7	7	5	16		
世田谷	26	6	27	68	8	10	17	3	12	2	
渋谷区	2		1	16	1	9	2				
中野区	6		23	42		10	2	6	4	2	
杉並	10	1	14	28	4	18	10	3	1		
池袋	3		1	3	2	1	1				
北区	4	1	8	17		6	2	9			
荒川区	9	1	26	26	1	14		2	2		
板橋区	1	3	4	19	4	12	10	2	2		
練馬区	8	1	43	61	8	13	9	9	14		
足立	18	2	25	88	2	21	7	3	8	1	
葛飾区	2	1	12	39	2	11	5	3	1	1	
江戸川	10	5	31	70		11	10	2	3	5	
八王子市	25	3	26	87	1	18	42	4	5	2	
町田市		1	21	59	9	8	10	2	2	2	
西多摩	1	1	12	20	4	3	7	2	2		
南多摩	11	1	16	19	4	7	10	5	2	1	
多摩立川	16	1	23	33	3	29	18	3	7	1	
多摩府中	4	2	36	78	4	37	23	11	11	2	2
多摩小平	14	4	52	37	1	15	26	8	7	1	1
島しょ			2								
東京都合計	228	52	500	1,153	68	373	262	114	129	21	3

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田							1			
中央区		1		7						
みなと		3						1		
新宿区		2					1			
文京										
台東	1									
墨田区	1						1			
江東区		1								
品川区		1								
目黒区	1	3		1						
大田区		11		2						
世田谷	4	13								
渋谷区		1		1						
中野区		2		3						
杉並	1						1			
池袋							1			
北区				1						
荒川区				1						
板橋区	1	1		2						
練馬区	4									
足立	1	2								
葛飾区	1	1								
江戸川	1			1						
八王子市	2			1						
町田市	2									
西多摩		2								
南多摩										
多摩立川	5	3								
多摩府中	14	6								
多摩小平	4	3			1					
島しょ										
東京都合計	43	56		20	1		5	1		

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2018年42週 現在)

## ◆ 小児科定点

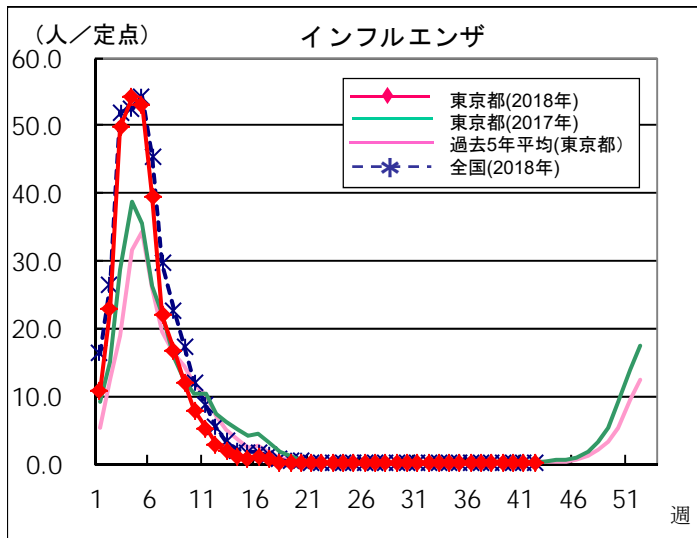




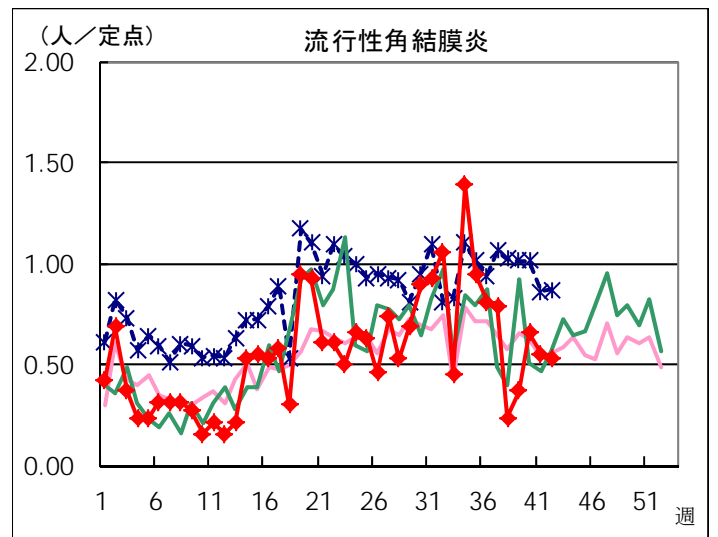
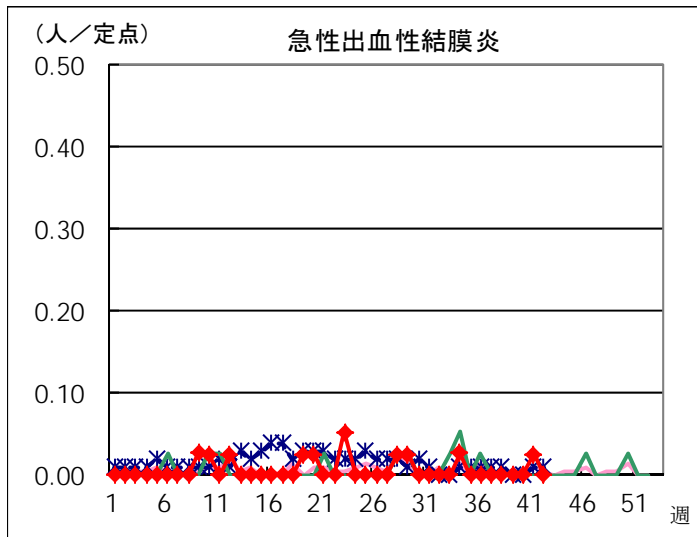
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

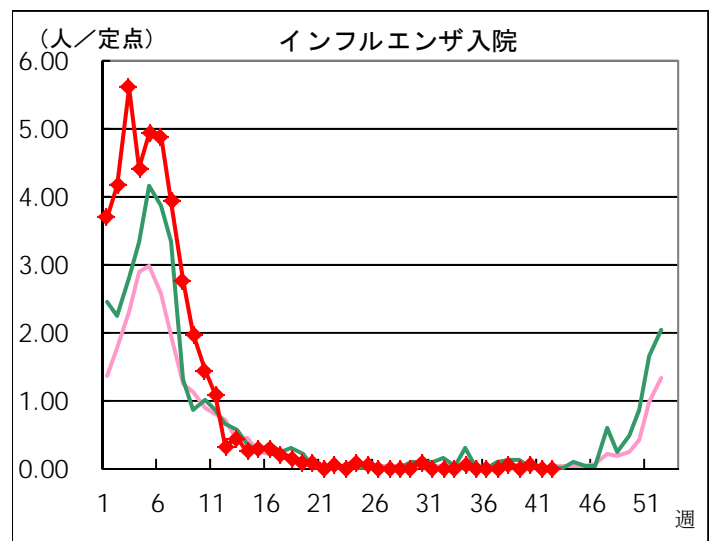
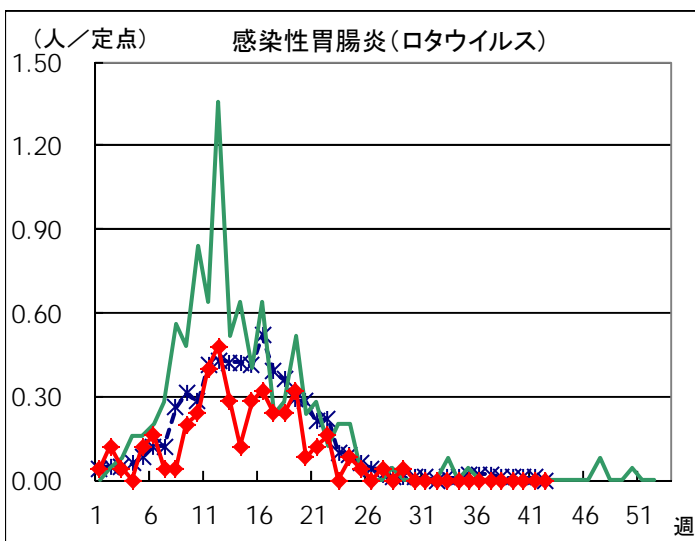
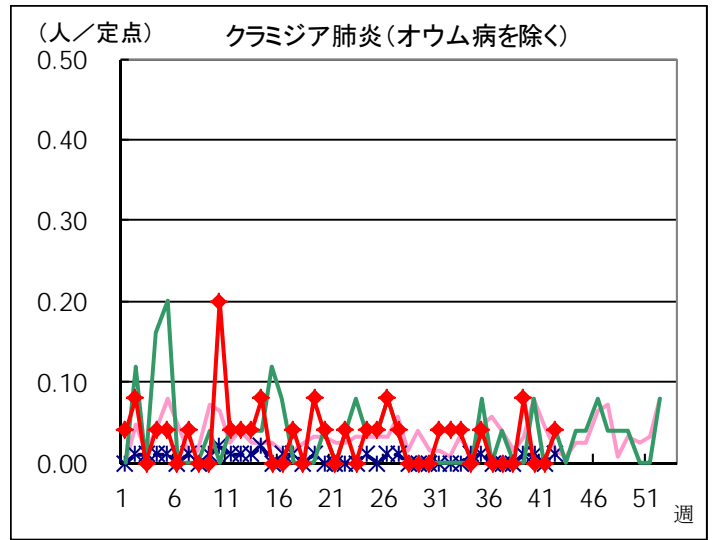
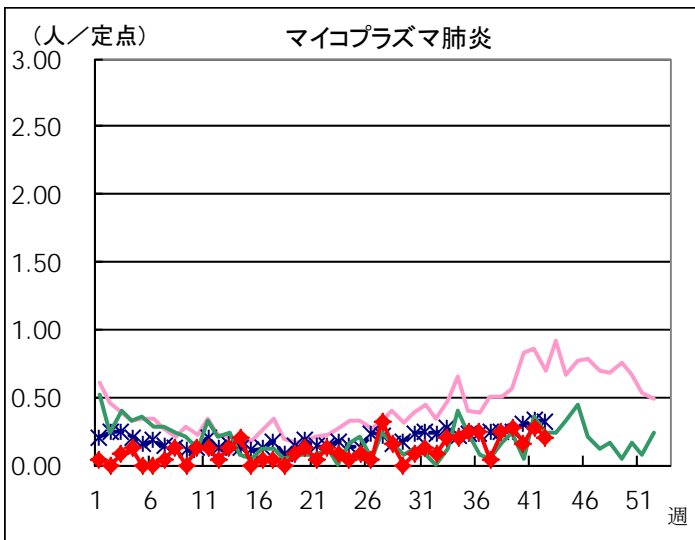
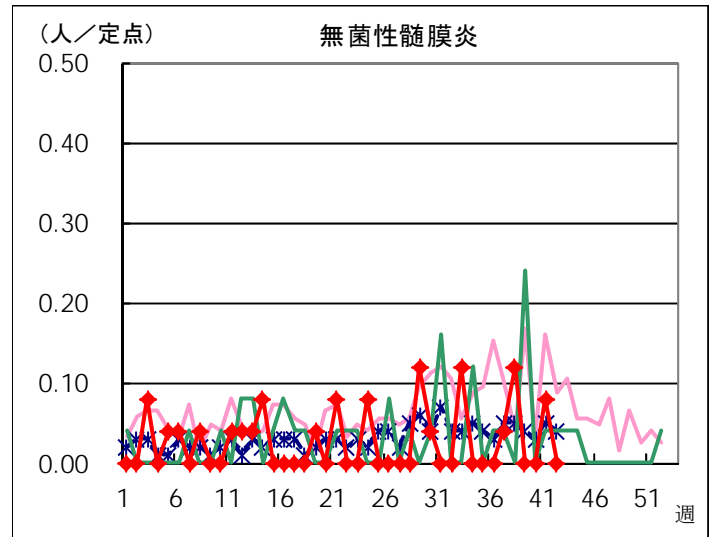
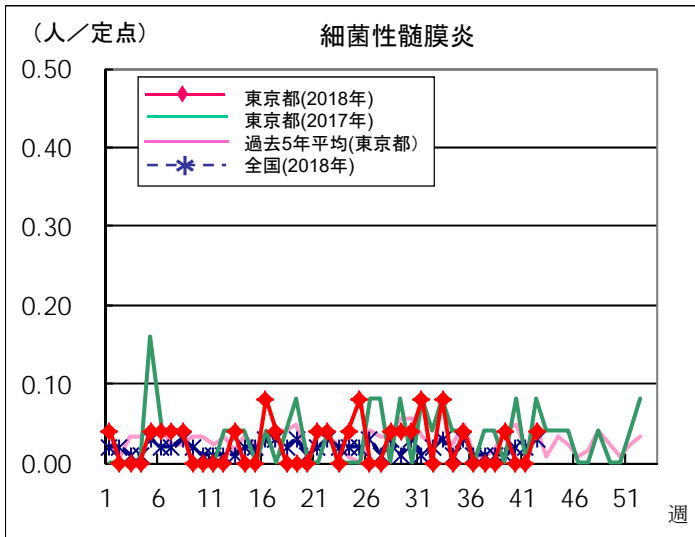
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
9/10	RSウイルス感染症	7M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
9/15	RSウイルス感染症	5M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
9/21	無菌性髄膜炎	20	髄液	エコーウイルス14型
9/22	突発性発しん	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
9/26	手足口病	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
9/26	不明発しん症	13	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
9/27	ヘルパンギーナ	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群10型
9/27	流行性角結膜炎	34	結膜拭い液	アデノウイルス54型
9/28	水痘	6	咽頭拭い液	水痘・帯状疱疹ウイルス ヒトパルボウイルスB19
9/29	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群9型
10/1	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群5型
10/1	手足口病	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
10/1	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
10/1	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
10/1	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
10/1	不明発しん症	1	咽頭拭い液	風しんウイルス ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトパルボウイルスB19
10/1	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
10/3	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	RSウイルスB型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2018年40週			1	
2018-2019年 シーズン累計*	4		1	

\* 2018-2019年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2018年							
	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週
アデノウイルス					1		1	1
コクサッキーウイルスA群	3	1	6	4	1	2	5	4
コクサッキーウイルスB群			1					
エコーウイルス			1				1	1
エンテロウイルス71					1			2
その他のエンテロウイルス						1	2	
ライノウイルス							1	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス		1						1
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1		1	1	1	1	1	5
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス							1	1
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	1	1	1	2	2		1	3
RSウイルス	1	1	2	6	3		1	3
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型								1
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09					2	2		
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1	1						
A群溶血性レンサ球菌T-3型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-4型		1				1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		2						
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ			1					
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報 【臨床診断名別】

2018年33週～2018年40週

	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	川 崎 病	不 明 発 し ん 症	イン フル エン ザ	イン フル エン ザ 様 疾 患	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
搬入検体数	17	3	10		3	10	8	9	11	4	1	31	5	9		2		6	1	
アデノウイルス		1														2				
コクサッキーウイルスA群	1	1				7	1		11				5							
コクサッキーウイルスB群																		1		
エコーウイルス						1												2		
エンテロウイルス71						2						1								
その他のエンテロウイルス		1											1	1						
ライノウイルス							1													
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・带状疱疹しんウイルス					2															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型						1		5				5								
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス												2								
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19					1		5					5								
RSウイルス	17																			
ノロウイルス																				
ロタウイルス																				
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1亜型																				
インフルエンザウイルスAH3亜型														1						
インフルエンザウイルスB型																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09														4						
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																			1	
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

## <感染症豆知識>

### ノロウイルスの Diffuse Outbreak

ノロウイルスは感染性が極めて高く、都内でも例年数十件の食中毒が発生している。昨年には、広域流通食品の「刻み海苔」による、これまでに類を見ない大規模な Diffuse Outbreak（散発的広域的集団感染）が発生した。

1月の和歌山県での同一調理施設から配食された小中学校・幼稚園における756人の患者発生に続き、2月には立川市の7小学校で1,084人、小平市の2小学校で107人の、それぞれ同一の給食を喫食した患者が発生した。東京都が給食に使用した刻み海苔と同じ賞味期限の未開封品を調査したところノロウイルスが検出され、塩基配列が患者由来ウイルスと一致し、原因食品と特定された。これを受けて、大阪市が刻み海苔製造業者の施設を調査したところ、トイレおよび海苔裁断機から患者と遺伝子型が一致するウイルスを検出し、さらに有症状の調理従事者が素手で刻み作業に従事したことが明らかになったことから、製造過程での汚染が推察されるに至った。結局、全国5市で2,000人以上が給食を通じて感染したことが報告されている。

今後、食品の製造流通過程が複雑化する中で Diffuse Outbreak のリスクは相対的に高まると考えられる。本事例は、たまたま集団給食に使用されたために、迅速に原因の特定に至ったとも言えるが、それぞれが単発例と判断され、原因の特定が遅れることや未解明に終わることも少なくない。

このため、臨床医療において、家庭内や同一喫食グループからの複数感染を確認した際には積極的に食中毒を疑って届け出を行って頂くことが、その解明の重要な手掛かりとなる。ぜひご留意頂きたい。

(文責 北区保健所長 前田秀雄)

参考文献：国立医薬品食品研究所報告 第135号 (2017)

<https://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2018/idwr2018-35.pdf>